

健康やかに、 美しく。

「女性の健康週間公開講座」

子宮頸がん^{ゼロ}をめざして

- 進んで検診を受けよう
講師 国立病院機構四国がんセンター 手術部長
日浦 昌道 先生
- がんになっても笑うて生きばい!
講師 NPO法人 がん患者団体支援機構 理事
宮部 治恵 さん



子宮頸がんは、子宮頸部にヒトパピローマウイルス(HPV)が長い間、感染することによって起こります。感染してがんになるまでに数年～数十年かかるので、定期的な子宮頸がん検診によって、早期あるいは、がんになる前の状態で発見することができます。

子宮頸がんに関係の深いHPV16型および18型に対するワクチンの接種ができるようになりました。これで60～70%の子宮頸がんが予防できます。

ワクチン接種と定期的な検診で子宮頸がんは0にできるのです。

期日 平成23年3月6日(日) 午後1時30分～3時30分(開場1時)

場所 中国新聞ホール 広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル7F

お申し込み 参加希望の方は、はがき、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

【はがき】 〒730-0854 広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル8階
メディア中国「女性の健康週間公開講座」係

【FAX】 082-232-7977

【Eメール】 event-5@media-chugoku.jp

郵便番号、住所、名前、年齢、電話番号、参加人数を明記ください。

応募締切 2月21日(月) 必着

お問い合わせ メディア中国「女性の健康週間公開講座」係
TEL 082-236-2860(土・日、祝日を除く9:30～17:30)

参加費 無料

※個人情報は随講券の発送と応募多数の場合、抽選にもれた方への通知のために利用し、メディア中国が責任をもって管理します。

主催:広島県産婦人科医会・日本産科婦人科学会広島地方部会・(公財)おぎやー献金基金・中国新聞社 / 共催:グラクソ・スミスクライン株式会社
後援:広島県・広島市・広島県医師会・広島市医師会